

5 生活上の注意

- 服用中は出血が止まりにくくなっていますので、けがをしないように注意してください。
- 手術や歯の治療をする時は、事前に医師に相談してください。
- アルコール(飲酒)はこの薬の作用に影響を及ぼすことがありますので、服用中は控えてください。
- 納豆、クロレラ食品、青汁、ビタミンKを多く含む食品、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品はこの薬の作用を弱めますので、食べたり飲んだり、大量に食べ続けることは控えてください。

6 保管方法その他

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

その他にわからないことや困ったことがあれば、医師または薬剤師に相談してください。



2026年6月作成(DOW)
[審2606044137]

ワルファリンK錠を服用される方へ

〈大切な注意事項が記載してあります〉

ワルファリンK錠
0.5mg「NP」



ワルファリンK錠
1mg「NP」



この薬は、ビタミンKの働きを抑えて血液を固まりにくくし、血管の中に血栓ができるのを防ぎます。通常、血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症など)の治療や予防に用いられます。

他の医療機関・診療科を受診する際には、この薬を服用していることを必ず伝えてください。

① この薬は、定期的な血液検査が必要です。必ず医師が指示した受診日を守ってください

② この薬の使い方

- 飲む錠数と回数は、血液検査などの結果に基づいて医師が決めます。必ず指示された服用方法に従って、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、飲むべき時間から半日以上経過していたら、1回分を飛ばし、次から規則的に飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 一度に2回分以上飲んだ場合、出血が起こる可能性がありますので、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

③ 他の医療機関・診療科を受診する際には、この薬を服用していることを必ず伝えてください

④ 次のような人は注意が必要な場合があります。必ず医師や薬剤師に伝えてください

- 以前に薬や食品で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある人
- 出血している人(血小板減少性紫斑病、血管障害による出血傾向、血友病その他の血液凝固障害、月経期間中、手術時、消化管潰瘍、尿路出血、咯血、流産・早産・出産直後、頭蓋内出血の疑いがある)
- 出血する可能性がある人(内臓腫瘍、消化管の憩室炎、大腸炎、亜急性細菌性心内膜炎、高血圧症、糖尿病)
- 肝障害、腎障害がある人
- 手術または外傷後日が浅い人
- 妊娠中、妊娠している可能性がある、授乳中の人
- 他に薬などを使っている人(お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください)

(次頁へつづく)